

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高規格救急自動車整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	09	01	03	05	65
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	救急車搬送が必要な傷病者	意図	当該車両の更新整備により、救急救命士の救急救命処置等を積極的に実施し、救命率の向上を図る。
事業内容	平成21年に購入した東消防署及び南消防署の高規格救急自動車は、救急出動の増加等に伴う老朽化が著しいため、更新整備を実施し迅速かつ的確な救急体制の確立を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	東消防署及び南消防署の高規格救急車は、年々増加する救急出動により走行距離が、10万kmを超え経年劣化による車両整備の軽減及び救命率向上のため最新の救急救命資機材の整備充実を図る。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	救急出動件数	7188	7844	8042	件	↘↘↘	年度別救急出動件数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果	経年劣化による車両整備の軽減及び救命率の向上が期待できる。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 現在、本市において5隊の救急隊にて運用しているが、救急出動の件数については、年々増加しているため、各高規格救急車の出動件数及び走行距離が多くなっている状況であるため、古い車両にあつては老朽化著しく、車両整備等に係る回数も増加している。一方で平成25年4月から千葉北西部消防指令センターの運用が開始され高機能の消防指令システムが導入されているため119番の受報から救急車の出動指令までの時間短縮につながっている。			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				70,026,570				
事業費(b)(円)				66,670,570				
うち一般財源				35,456,570				
職員給与費(c)(円)				3,356,000				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	救急出動件数が増加しているため、高規格救急自動車の更新及び救命率向上のための救急救命資機材の導入を図る。	③取組の課題	高規格救急自動車を更新し救命率向上のため最新の救急救命資機材を整備した。
②今年度(H29)に実施した取組	高規格救急自動車を更新し救命率向上のため最新の救急救命資機材を整備した。	④今後(H30以降)の改善計画	救急出動増加に伴う、高規格救急自動車及び救命資機材の更新整備と運用する救急救命士、救急隊員の増員。